

観光都市を目指して

足利市の課題

足利市は「足利学校」、「饒阿寺」、「あしかがフラワーパーク」などの観光資源が豊富で、年間500万人前後の観光客が訪れます。そんな足利市の観光には大きな課題があります。それは「**宿泊率の低さ**」です。

一般的に日帰り観光客に比べ、宿泊観光客はその**消費額が3倍違う**と言われています。宿泊率が高まれば地域に波及する経済効果が大きくなるため、雇用や税収も増え、産業としての厚みが出てきます。その宿泊率ですが、表のとおり足利市は**1.1%**と極端に低く、県北他市とは大きく乖離しています。

他市との宿泊率比較(令和4年)

	日光市	那須塩原市	足利市
観光客数	8,723,858	7,512,671	4,191,518
宿泊数	2,482,438	702,768	44,871
宿泊率	28.5%	9.4%	1.1%

栃木県観光客入込数・宿泊者数推定調査より筆者が抽出

宿泊率が低い理由

私が考える足利市の宿泊率が低い理由は以下です。

(1)東京都心部から日帰りで来られる距離感

長所でもあり短所でもある特徴かもしれません。東武伊勢崎線や、北関東自動車道などの交通インフラが充実していることも仇となっている可能性があります。

(2)温泉などの宿泊を決定付ける観光資源が少ない

温泉を有する日光市、那須塩原市の宿泊率の高さがそれを示しています。お酒や、夜楽しめる観光資源があることは、宿泊を決めるうえで重要な要素となります。

出張! 市政報告会・意見交換会

末吉利啓が皆様の地元や会社などにお邪魔して、市政報告をいたします。お気軽にお問い合わせください。

■末吉利啓プロフィール■

昭和56年生まれ足利出身のプロレスラー。足利市朝倉町に生まれ福富町で育つ。足利を元気にするため観光や歴史を切り口に地域イベント・プロレス大会の開催、イベントの司会、コラム執筆、講演など様々な活動を行う。平成27年足利市議会議員選挙に出馬し初当選(現在3期目)。市議会議員プロレスラーとして活動中。

■末吉としひろ事務所■

〒326-0331
栃木県足利市福富町2019-2
☎0284-22-3884
✉info@sueyoshi-toshihiro.com

【泊まってもらえない足利と夜景観光】

夜景観光で滞在時間延伸を

そこで、足利市は夜景観光を強化して観光客の滞在時間を伸ばそうとしています。あしかがフラワーパークのイルミネーションはもちろんのこと、足利学校や饒阿寺をライトアップする「足利灯り物語」を展開し、2023年は約68,000人が来場しました。私が議会で提言している更なる夜景観光の強化策は以下です。



ライトアップされた阿田川の橋梁(東京都)

(1)渡良瀬橋、中橋、水辺のライトアップ

全国的に夜景が有名な神戸や函館、北九州には共通して海と接する水辺があります。水辺により灯りの縁取りが生まれ、魅力的な景観を作り上げます。渡良瀬川や渡良瀬橋、中橋を光で演出することで、足利ならではの魅力的な夜景を生み出せます。また、常設であることも重要です。

(2)展望施設の充実(例:織姫公園レストラン棟の活用)

レストラン棟は織姫山山頂に建設され、2階、3階からは眺望を遮蔽する樹木がないため、最高の夜景を眺められます。利用者が少ないので手を加えて活用すべきです。

(3)夜景資源の総合プロデュース

歴史と文化のまちとして、その雰囲気を変えずに、一定の統一性を持たせる総合プロデューサーが必要です。

そして、**夜景観光を宿泊などの消費行動に結びつける仕掛け**も必要です。関係者や有識者と共に更なる調査・研究を進める必要があります。併せて、夜景観光からどの程度宿泊に流れているのかを把握する必要もあります。

アシカガ+ミライ茶論(サロン)

- 日時/毎月第2水曜日 午後6:30~8:00
- 場所/珈琲蔵(栃木県足利市旭町2292)
- ※毎月行っている意見交換会です。どなたでも参加できます。詳しくはHPへ。

スエヨシレポート

足利市議会議員 プロレスラー [末吉としひろ市政レポート]

vol.15
2024年2月発行

泊まってもらえない足利と夜景観光 「観光都市を目指して」

防災対策

姥川の浚渫工事開始

景観まちづくり

まちなかエリアで無電柱化の方針

令和5年3月議会一般質問

◎結果に繋がる計画策定~中心市街地の活性化~

◎中橋、渡良瀬橋ライトアップで魅力的な足利に

令和5年6月議会一般質問

◎保育所・保育園へ積極的な支援を
~子ども達を最優先に考えるまちづくり~

◎景観整備と迅速な区画整理でまちなかに賑わいを

討議資料

[写真] 銘仙行燈と石畳通り

末吉としひろ 検索

■最新情報発信■

